

Information

No.2024-24 Date 2024.6.

〈新規受託〉研究検査

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白

記

項目名

● STDマルチ定性/PCR

(依頼コード No.14028)

受託開始日 2024年6月3日(月) ご依頼分より

本検査は、リアルタイムPCR法を用いてマイコプラズマ・ジェニタリウム(*Mycoplasma genitalium*)、マイコプラズマ・ホミニス(*Mycoplasma hominis*)、ウレアプラズマ・ウレアリチカム(*Ureaplasma urealyticum*)、ウレアプラズマ・パルバム(*Ureaplasma parvum*)、HSV-1(1型)およびHSV-2(2型)の6種類の核酸を同時に検出します。

非クラミジア性非淋菌性の性感染症(Sexually Transmitted Diseases:STD)の原因であるマイコプラズマ(ジェニタリウム、ホミニス)およびウレアプラズマ(ウレアリチカム、パルバム)は、クラミジアや淋菌と同様、性器や咽頭に感染し症状を発症すると報告されています。

潜伏期間が1~5週間と長く、感染していても自覚症状がない場合も多いため、感染していることに気づきにくいという特徴があります。そのため、治療をしないことにより男性では尿道炎、精巣上体炎、前立腺炎、女性では卵管炎、腹膜炎、不妊症、早産や流産になる可能性があると言われています。また近年では、マイコプラズマにおける薬剤耐性化も問題となっています。

性器ヘルペスウイルス感染症の原因ウイルスである単純ヘルペスウイルス(HSV)は、疾患の重症度、後遺症および再発率が異なるため、HSV-1およびHSV-2感染症の区別が必要不可欠です。

裏面に続きます

株式会社 第一岸本臨床検査センター

札幌本社：〒007-0867 札幌市東区伏古七条三丁目5番10号 ☎0570-085-212 FAX(011)787-2191

資料、お問い合わせは担当者または最寄りの営業所までお願いいたします。

受託要領

依頼（報告） コード No.	14028(親)STDマルチ定性PCR
	(子)23237 HSV-1 (子)23238 HSV-2 (子)23239 Mジェニタリウム (子)23240 Uパルバム (子)23241 Uウレアリチカム (子)23242 Mホミニス
検体必要量	腔擦過物および子宮頸部擦過物 尿(初尿) 4.5~6.3mL
容器	腔擦過物および子宮頸部擦過物：CT/NG PCR-S 尿(初尿)：CT/NG-PCR-U
検体の保存方法	室温(開封厳禁)
所要日数	3~6
検査方法	リアルタイムPCR法
基準値	(-)
単位	なし
報告範囲 (報告形式)	(-)、(+)、判定不能
検査実施料/判断料	未収載
備考	単独検体にてご提出ください。

【検査方法の参考文献】

Jensen JS. et al.: J. Clin. Microbiol. 42, 683-692, 2004.

Cao X. et al.: Diagn. Microbiol. Infect. Dis. 57, 373-378, 2007.

Férandon C. et al.: J. Clin. Microbiol. 17, 155-159, 2011.